

## 社会保険委員会

委員長：金子 剛

担当理事：清澤 智晴

委員：青山 亮介, 秋元 正宇, 朝村 真一, 井田夕紀子, 宇佐美泰徳  
宇田川晃一, 大城 貴史, 荻野 浩希, 河合建一郎, 栗山 元根  
小室 裕造, 齊藤 晋, 佐武 利彦, 鈴木 康俊, 関堂 充  
難波祐三郎, 二ノ宮邦稔, 沼尻 敏明, 野村 正, 日原 正勝  
本多 孝之, 森 浩, 山本 直人

開催年月日：①2019年5月16日(木), ②2019年11月15日(金) いずれも全体委員会(学会期間中). その他適宜 e-mail 委員会.

### 活動の概要：

#### 1. 2020年度診療報酬改訂要望について

##### ①厚労省ヒアリングについて

日時：2019年7月22日 14:30より

参加者：金子委員長, 関堂委員

a) 新設：自家脂肪注入術

b) 改正：乳房再建術の増点

以上2件を重点項目として説明を行った.

##### ②2020年度診療報酬改訂結果(3月5日 日本医師会資料による)

#### 【新設】

自家脂肪注入は不採用：しかし今回は医療機器の薬事承認に問題があるとの指摘はない。今後は乳房とその他の部位を分けるなどの対策を検討する。

J001-10 静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの) 200点

注1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

注2 初回の処置を行った場合は、静脈圧迫処置初回加算として、初回に限り150点を所定点数に加算する。

J003 局所陰圧閉鎖処置(入院)(1日につき) 持続洗浄加算500点

注2 初回の貼付に限り、持続洗浄を併せて実施した場合は、持続洗浄加算として、500点を所定点数に加算する。

J003-3 局所陰圧閉鎖処置(腹部開放創)(1日につき) 1,100点

J003-4 多血小板血漿処置(入院)(1日につき) 4,190点

注1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

注2 多血小板血漿伴って行われた採血等の費用は、所定点数に含まれるものとする。

K445-2 顎関節人工関節全置換術 59,260点

厚生労働大臣が定める施設基準が定められており、地方厚生局長等に届け出る必要がある。

K487 漏斗胸手術

4 胸骨挙上用固定具抜去術 5,680点

K939-8 超音波切削器加算 1,000点

注 K443 上顎骨形成術, K444 下顎骨形成術, K444-2 下顎骨延長術に掲げる手術にあたって超音波切削機器を使用した場合に算定する.

【改正】

NPWT: 縫合創への適応拡大 → 今回の改訂では見送られた.

通則 14: ①神経再生誘導術 → 3月末の通知で発出予定.

②同一術野での2つ以上の組織移植 → 通則 14の変更は行わず, K017 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの), K020 遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)の2術式の増点で対応する.

H007-4 リンパ浮腫複合的治療料 適応拡大

原発性リンパ浮腫

J003 局所陰圧閉鎖処置(入院)(1日につき)

(10) 陰圧維持管理装置として単回使用の機器を使用し, 局所陰圧閉鎖処置(入院)を算定する場合は, 特定保険医療材料の局所陰圧閉鎖処置用材料を併せて算定した日に週3回に限り算定できる.

J054-2 皮膚レーザー照射療法

(10) Qスイッチ付きヤグレーザー照射療法は, 太田母斑, 異所性蒙古斑又は外傷性色素沈着に対して行った場合に算定できる.

K001 皮膚切開術

- 1 長径10cm未満 470点→570点
- 2 長径10cm以上20cm未満 820点→990点
- 3 長径20cm以上 1,470点→1,770点

K002 デブリードマン

- 1 100cm<sup>2</sup>未満 1,020点→1,260点
- 2 100cm<sup>2</sup>以上3,000cm<sup>2</sup>未満 3,580点→4,300点

K009 皮膚剥削術

- 1 25cm<sup>2</sup>未満 1,490点→1,810点

K017 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)

- 1 乳房再建術の場合 87,880点→89,880点
- 2 100cm<sup>2</sup>以上3,000cm<sup>2</sup>未満 92,460点→94,460点

K020 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 127,310点→131,310点

K029 筋肉内異物摘出術 2,840点→3,440点

K045 骨折経皮的鋼線刺入固定術

- 3 鎖骨, 膝蓋骨, 手, 足, 指(手, 足)その他 1,660点→1,990点

K050 腐骨摘出術

- 3 鎖骨, 膝蓋骨, 手, 足その他 3,420点→4,100点

K061 関節脱臼非観血的整復術

- 2 胸鎖, 肘, 手, 足 1,300点→1,560点
- 3 肩鎖, 指(手, 足), 小児肘内障 800点→960点

K089 爪甲除去術 640点→770点

K090 ひょう疽手術

- 1 軟部組織のもの 990点→1,190点

K217 眼瞼内反症手術

1 縫合法 1,660点→1,990点

2 皮膚切開法 2,160点→2,590点

K396 気管切開孔閉鎖術 1,040点→1,250点

K931 超音波凝固切開装置等加算 適応拡大

K476-3 動脈（皮）弁及び筋（皮）弁を用いた乳房再建術（乳房切除後）

K939-2 術中血管等描出撮影加算 500点 適応拡大

K017 遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの）1 乳房再建術の場合

K476-3 動脈（皮）弁及び筋（皮）弁を用いた乳房再建術（乳房切除術）

K932 創外固定器加算 10,000点 適応拡大

K444 下顎骨形成術，K444-2 下顎骨延長術

先天性の第1第2鰓弓症候群，トリーチャーコリンズ症候群等にみられる小顎症の患者に対して骨形成術または骨延長術を行う際に創外固定器を用いた場合に算定する。

#### 【その他】

顎関節人工関節全置換術（TMJ リプレースメントシステムを用いる）については、以下の施設基準が設けられる。①形成外科又は耳鼻咽喉科を標榜している病院であること、②関連学会から示された指針に基づいた所定の研修を終了し、形成外科又は耳鼻咽喉科について5年以上の経験を有する常勤医師が1名以上配置されていること。

#### 2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

以下のように委員会に所属して活動を行った。

手術委員会：関堂委員，二ノ宮委員

(同) コーディングワーキンググループ：相原正記先生

(同) 医療材料・医療機器ワーキンググループ：前川二郎評議員

(同) 新しい評価軸検討ワーキンググループ：関堂委員

処置委員会：小室委員，荻野委員

検査委員会：二ノ宮委員，荻野委員

実務委員会：関堂委員，大城委員

AI委員会：秋元委員，大浦紀彦評議員

#### 3. 日本医師会疑義解釈委員会・保険適用検討委員会関連

2018年7月より金子委員長が副委員長（外科系）を務めている。形成外科関連は2件。

##### ① ストライカー社製コンパートメント内圧モニターについて

コンパートメント症候群の診断には必須の医療器械であること、代替品が存在しないこと、生産国ではストライカー社から他社に移譲して販売が継続されていることから、供給停止不可と答申した。これをうけて、2019年度中に供給再開（製造会社、製品名称は異なるが同じ規格の製品）の見込みである。

##### ② NPWTの一次縫合創への適応拡大について

日本外科学会，日本整形外科学会と共に保険適用可と答申した。形成外科学会として、ハイリスク症例には当てはまらないが適応となり得る形成外科手術について、既に提案済みであるが、どこまで含まれるかは中医協での審議による。今回の改訂では見送られた。

#### 4. DPC 関連

次年度診療報酬改訂時に向けて診断群分類の見直しのための検討会に秋元委員がMDC16 外傷の班長として参加している。厚労省側からはこれまでに引き続き横断的検討の依頼があり、社保委員会での様に分担して検討を行った。

MDC2 眼科：大久保文雄先生

MDC3 耳鼻咽喉：村上正洋先生

MDC7 筋骨格：二ノ宮委員

MDC8 皮膚：相原正記先生（班員）

MDC9 乳房：佐武委員

MDC14 新生児・先天奇形：宇田川委員

MDC16 外傷：秋元委員（班長）、井砂 司評議員（班員）、荻野委員（班員）、二ノ宮委員（班員）

#### 5. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

委員長と野口昌彦評議員（長野県立こども病院）の2名が参加している。JPASSとしての診療報酬改定要望に参加した。災害時小児周産期リエゾン連絡協議会の会員募集があり野口昌彦評議員が登録した。今後活動予定。

#### 6. 広報活動

##### ①特別セミナー：自家脂肪注入術の保険適用にむけて

第62回日本形成外科学会総会 2019年5月15日（水）

第26回日本形成外科学会基礎学術集会 2019年11月15日（金）学術委員会と共に以下の内容でセミナーを行った。

委員長：関堂 充（自家脂肪注入ガイドライン委員長）

座長：櫻井裕之理事（学術委員会委員長）、大西 清担当理事/清澤智晴担当理事

演者：1. 金子 剛：自家脂肪注入術の保険収載要望の現況

2. 水野博司：自家脂肪注入術の基礎

3. 関堂 充：自家脂肪注入術のガイドラインの概略およびRomberg病や強皮症などに対する自家脂肪注入術

4. 小室裕造：顔面変形に対する自家脂肪注入術

5. 佐武利彦：乳房再建における適応と施行の実際

6. 浅野裕子：脂肪注入を利用した乳房再建のアルゴリズム

（以上敬称略）

##### ②社保委員会主催教育セミナー

（1）社保教育講演 2019年5月16日（木）

司会：大西担当理事，金子委員長

演者：1. 関堂委員：2020年度改定要望に関する学会アンケートと要望項目について

2. 荻野委員：2020年度改定要望に関する外保連試案の作成・問題点

3. 金子委員長：“いわゆる混合診療問題の”のその後

（2）保険点数請求に関する講習会 2019年11月15日（金）

明日から役立つ診療報酬請求（正しい診療報酬請求のコツ）

司会：清澤担当理事，金子委員長

演者：宇田川委員，二ノ宮委員

#### 7. ワーキンググループの設置について

①混合診療検討 WG

委員長：難波委員（岡山大学）

副委員長：小室委員（帝京大学）

委員：金子 剛（国立成育医療研究センター），菅原康志（リラ・クラニオフィシャルクリニック東京/自治医科大学），関堂 充（筑波大学），鳥山和宏（名古屋市立大学），丹羽幸司（ナグモクリニック大阪/近畿大学），原岡剛一（神戸大学），百澤 明（山梨大学）（敬称略 50 音順）

第 63 総会時に第 1 回委員会を開催し，保険診療と併施できる自費診療のあり方，GID 学会で必要と考える混合診療などについて議論を開始する予定。

②TMJ リプレースメントシステムを用いた顎関節人工関節全置換術に関する適正施行指針作成 WG

今年度の診療報酬改訂において，顎関節人工関節全置換術（TMJ リプレースメントシステムを用いる）が新設されたが，これに用いる医療機器は本邦での使用経験がほとんどないことから，厚労省から日形会および日本耳鼻咽喉科学会に対して適正施行指針の作成を要請された。3 月中を目途に第一版を作成する予定。

委員長：金子 剛（国立成育医療研究センター，日形会社保委員長）

委員：赤松 正（東海大学），今井啓介（大阪市立総合医療センター），楠本健司（関西医科大学），小室裕造（帝京大学），坂本好昭（慶應義塾大学），関堂 充（筑波大学），土佐 泰祥（昭和大学），杠 俊介（信州大学）（敬称略 50 音順）